

日本海員組合歌

— 諸の「旗の衆民」 —

血に燃ゆる大船の旗
風を切るたてし
思へば苦闘の歴史
血潮の日徳はる
無難は影ひそめ
海潮は波ひゆく
押取なき社会とは
建てるは我等の使命

我等の大船の旗くとき
港灣に 旗竿し 船影に
風は吹はるはあまのこ
正義の白田かなる
無難は影ひそめ
海潮は波ひゆく
押取なき社会とは
建てるは我等の使命

三、神をたてし集ま
我等の船影はれり
私利私欲に眼なき
資本の牙城は水ゆ
無難は影ひそめ
海潮は波ひゆく
押取なき社会とは
建てるは我等の使命

四、日と國事に 協約を
履行 我等の理想も
抑えらるるとは堪へし
建てるものなりしを
無難は影ひそめ
海潮は波ひゆく
押取なき社会とは
建てるは我等の使命

昭和六年度事業報告

日本海員組合